

# 平成28年度 自己点検・評価報告書



平成28年7月

学校法人シモゾノ学園

大宮国際動物専門学校

# 2016年度 学校法人シモゾノ学園 自己点検・評価表 (ISO 29990対応版 Ver. 2.0a)

実施日：2016年(平成28年)7月29日

学校名：大宮国際動物専門学校

## 1. 学校の教育目標

- 専門性の追求  
動物を取り巻く環境をしっかりと理解し、動物業界で求められる知識・技術を追求し、戦力となる人材を育成します。
- 道徳性・人間性の育成  
感謝の心を失わず、挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、品格の備わった人材を育成します。
- 動物福祉の実践  
動物の生命及び尊厳を守る精神を養い、自然・環境・動物との共存共生を実践し、広く社会に貢献できる人材を育成します。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

### 【1】教育関連事項

- (1) 教育課程編成委員会を通じた教育目標と教育課程の質の向上
- (2) 職業実践専門課程の認定に係る企業との学生の企業連携実習の強化
- (3) 職業実践専門課程の認定に係る企業との教職員の教育力・専門力の向上
- (4) 教職員研修や研究授業などを通じた教育力・専門力の向上
- (5) シラバス・コマシラバスを基軸とした、授業の仕方の質の向上
- (6) 動物看護師の公的資格制度の推進
- (7) 退学率の低減
- (8) 就職サポートの強化
- (9) 学生募集の強化

### 【2】学校運営関連事項

- (1) 職業実践専門課程の継続的認定
- (2) 内部監査を含めた、自己点検・評価委員会による学校運営管理の質の向上
- (3) 学校関係者評価委員会による学外評価を通じた学校運営の質の向上
- (4) 施設・設備整備5か年計画を通じた、教育環境の整備
- (5) 非常時に対する対応の強化
- (6) 学校運営に関する規程等の見直し
- (7) 教職員の就業環境の見直し
- (8) 学費等の納付金の適正な受け取りと主要経費の効率的活用を図り、学校運営の健全性を維持する予算行為計画の実施

### 【3】社会貢献と連携事業関連事項

- (1) 国際どうぶつ祭りの継続的な開催
- (2) 各行政機関と連携した、地域社会貢献型の公開講座等の協力強化
- (3) 業界・企業・外部団体等と連携した、社会貢献型のイベント等の協力強化
- (4) 社会人等を対象とした生涯学習の需要の検討

### 3. 評価項目の達成及び取組み状況

1 教育理念・目標		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
1	1	④ 3 2 1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)
1	2	④ 3 2 1	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか
1	3	④ 3 2 1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
1	4	④ 3 2 1	学校における職業教育の特色は明確になっているか
1	5	4 ③ 2 1	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか 保護者への周知については学生経由で案内をしているだけに留まっている点が課題である。2016年度より「保護者会」の開催による周知機会を追加し、周知の向上を高める取り組みの準備を行っている。

#### ① 課題

→ 2015年度の自己点検・評価に引き続き、該当事項の保護者への周知については学生経由で案内をしているだけに留まっている点が課題である。  
2016年度より「保護者会」の開催による周知機会を追加し、周知の向上を高める取り組みの準備を行っている。

#### ② 今後の改善方策

→ 新入生の保護者に向けた保護者会を定期的実施するとともに、卒業・就職を控えた在校生の保護者に向けた情報共有のための保護者会開催を実施する。

#### ③ 特記事項

→ 2016年度の年度初めに、「新入生の保護者向け保護者会」の開催を行った。

2 学校運営		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか	④ 3 2 1
2	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1 現状の学校運営に即した規定に再整備する必要がある。
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
2	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4 ③ 2 1 回数を増やすだけでなく、共有すべき内容についても精査する必要がある。
2	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 ② 1 現状ではコンプライアンスに対する体制が整っているとはいえない。
2	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
2	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1
2	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	④ 3 2 1

2	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4	3	②	1	クレームに対して組織として対処できていない。
2	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	④	3	2	1	

### ① 課題

- 各規程を現状の学校運営に則した文言で再整備し、より有効に運用する。
- 講師会の開催頻度は増えたが、共有する内容と方法についても精査する必要がある。各授業の終わりに担任への申し送りや講師の要望等。
- コンプライアンスに対しては各々で守られてはいるが、組織として体制が整っているとは言えない。
- クレームに対して組織として対処できていない。

### ② 今後の改善方策

- 組織規程、学園事務稟議決裁規程などの規程を精査し、必要に応じて再整備に取り掛かる。
- 講師との共有内容、回数等を2017年度事業計画の中で明確にしていく。
- 2016年度中に規定の整備と周知を行った上で、2017年度にコンプライアンス委員会、相談窓口等の設置を目指す。
- 2016年度中にクレーム対応マニュアルの整備と周知を図っていく。

### ③ 特記事項

※ 特になし。

3 教育活動		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点				
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1	

3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	
3	4	動物関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1	
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	
3	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	
3	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	④	3	2	1	
3	8	動物関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1	
3	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4	3	②	1	周知体制の整備はできているので、次年度から事前に学生に提示する。
3	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	④	3	2	1	
3	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	③	2	1	アンケート項目に設備や教材に関する項目を追記する。
3	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	
3	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1	全講師の授業評価ができていない。

3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	④	3	2	1	
3	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	③	2	1	環境及び教材の検証ができていない。環境・教材をリスト化し検証する。
3	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	「要件」が不明確である。なにをもってコンピテンシーとするかを学園として規定する必要がある。
3	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	④	3	2	1	
3	19	動物関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1	教育課程を反映した研修を実施している。
3	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果の評価し、文書により記録しているか)	4	③	2	1	研修の実施が不足している。また職員のコンピテンシーが不明確なことも課題である。
3	21	動物関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1	

#### ① 課題

- コマシラバスを事前に学生に提示することができていない。
- 全ての講師の授業評価ができていない。
- 教育環境及び教材に関する検証が十分ではない。

#### ② 今後の改善方策

- コマシラバスは完備しているので、次年度より事前に学生に提示する。
- 全ての講師を対象とした授業評価を実施する。
- 教育環境及び教材をリスト化し、検証できるような体制を整える。

③ 特記事項  
※ 特になし。

4 学習成果		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
4	1	④ 3 2 1	
4	2	4 3 ② 1	情報の網羅までできていない。卒業生から情報を得る術があまりない。卒業生から学校にアプローチする仕掛けが必要。
4	3	④ 3 2 1	
4	4	4 3 ② 1	根拠が不足している。年間スケジュールに評価スケジュールを反映。
4	5	④ 3 2 1	
4	6	4 ③ 2 1	ニーズは企業として捉える。調査書の数が少ない。
4	7	④ 3 2 1	
4	8	④ 3 2 1	

① 課題

- 卒業生との繋がりが確立されていないため、卒業生情報を得ることができていない。
- 教職員のコンピテンシーが明確になっておらず、評価の根拠を定めることができていない。
- 企業のニーズや満足度を調査しているが、回答数が少ないため評価の根拠としての信ぴょう性が低い。



② 今後の改善方策

- 卒業生から学校に自然にアプローチしてくるような仕組みを考える。
- 教職員のコンピテンシーを明確に規定することを検討する。
- 企業調査数を増やす方法を検討し実施していく。

③ 特記事項

- 教員以外のスタッフに関しては、学生から対応や説明などに関するアンケートなどを実施することでコンピテンシーづくりの要点としていく。

5 学生支援		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1 就職しない学生への支援やケアは今後の課題ともいえる。
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
5	3	保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1 保護者会の開催がまだできていない。
5	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
5	5	卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1 卒後教育セミナーの実施ができていない。
5	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	④ 3 2 1
5	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1

5	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1	
5	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1	サークルに関する案内を明文化することを検討する。
5	10	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1	

① 課題

- 保護者との連携が不足している。
- 卒業生に対する支援が不足している。
- 課外活動に対する支援体制を学生に伝えられていない。

② 今後の改善方策

- 保護者会を開催していく。
- 卒業生を対象とした卒業教育を実施していく。
- 課外活動(サークル活動)について学生の手引きに明文化していくことで、学生にしっかりと伝えていく。

③ 特記事項

- 現状はほとんどの学生が就職希望だが、就職を希望しないもしくは大学などへの進学を希望する学生が増えて来た場合の支援の検討も将来的には必要になってくる。

6 教育環境		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
6	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	④ 3 2 1
6	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4 ③ 2 1 あらゆる非常時、災害時に対応できるような内容により整備を行う必要がある。
6	4	防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1 実際に災害が起きた場合に対応できるような体制を整備する必要がある
6	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1

① 課題

→ 避難訓練は実施しているが、あらゆる非常時・災害時に対応できるような内容により整備を行う必要がある。

② 今後の改善方策

→ 非常時や災害時に最低限すべき対応事項を整理し、あらゆる状況においても先述の対応事項をその場にいる教職員が速やかに行動に移し、学生・教職員などの安全確保を行える体制を整えとともに、総合的な危機管理マニュアルを作成していく。

③ 特記事項

※ 特になし。

7 学生の受入れ募集		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点	
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	④ 3 2 1	
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	④ 3 2 1	
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	④ 3 2 1	
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	④ 3 2 1	
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1	
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4 ③ 2 1	入学前(学校案内書や説明会)と入学後に提供する情報を整理しマニュアル化する。
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	④ 3 2 1	
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	④ 3 2 1	
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1	消費税への対応、学納金以外の学生預り金と実収支のバランス。

### ① 課題

- 評価手段の説明は学生募集の段階では十分とは言えないが、入学時には「学生の手引き」を通して周知説明されている。  
2016度は学校説明会等と言及するような準備を進めている。  
また、特別なニーズの特定は、直接入学志望者と接点をもつ入学相談室メンバー内で共有されている。
- 学納金については研修費用等、徴収金と実質費用に隔たりが出ており、特に移動用バス費用の高額化など経済状況や、市況に合わせた見直しを検討する時期にある。

② 今後の改善方策

- オープンキャンパス時に学納金の説明と合わせて詳細説明を行う。学納金については事務局を中心に実質的な費用を考慮した見直しを図る。
- 評価手段の説明は、提供する情報を入学前と入学後に分けてマニュアル化して対応できるよう準備を行う。

③ 特記事項

- 上記に対応し、既に学納金に関する学則変更済みである。

8 教育の内部質保証システム			適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
8	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1	組織としての最終的な完備とまでは至っていない。
8	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	
8	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	④ 3 2 1	
8	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1	
8	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 ③ 2 1	2016年度にさらに4名の受講予定あり。
8	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	④ 3 2 1	
8	7	自己点検・評価結果を公開しているか	④ 3 2 1	

① 課題

- 各部署で管理方法の検討が進んでおり、これを本部で総括して学園主導の管理体制とする決定をしたが、最終的完備には至っていない。
- 評価者講習を受講した内部監査の担当者数を向上し、自己点検・評価の質を高める。

② 今後の改善方策

- 個人情報保護について、各部署での対応を本部が統括して管理体制を構築できるようにする。
- 監査や評価にあたる担当者が順次、評価者講習を受講する。2016年度は2名の受講予定している。

③ 特記事項

- 評価者講習をJAMOTECセミナーで受講し、学園内より「学習者サービス審査員補」として2名の登録をした。  
(一般社団法人 人材育成と教育サービス協議会、学習サービス審査委員評価登録センターCLSAR)

9 財務		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点
9	1	④ 3 2 1	財務について会計監査が適正に行われているか
9	2	④ 3 2 1	財務情報公開の体制整備はできているか 情報公開に関する規定を再整備する。
9	3	④ 3 2 1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
9	4	④ 3 2 1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

① 課題

- 財務情報公開の体制は整っておりホームページで公開しているが、情報公開に関する規定の再整備を行う必要がある。
- 情報公開までの期日、手順についても明記する。

② 今後の改善方策

- 2016年度中に財務情報公開規定(仮)の作成検討を行う。

③ 特記事項

※ 特になし。

10 社会貢献・地域貢献		適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1	課題・問題点・改善点		
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3 2 1	
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3 2 1	
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4	③ 2 1	

① 課題

→ 地域に対する公開講座の開講は地域密着型のイベント(大宮国際★どうぶつ祭)を通してニーズを図っている段階である。

② 今後の改善方策

→ どうぶつ祭を通して検討しうる地域密着型の公開講座開催に向けた準備を進めていく。

③ 特記事項

→ さいたま市の動物愛護推進委員に多くの教職員が委嘱を受けており、また、学校とさいたま市の間にも動物愛護に関する包括提携締結に向けた動きがある。